

## 令和3年竹田市教育委員会第2回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和3年2月10日（水）午後1時30分から
- 2 開催場所 竹田市役所3階会議室
- 3 出席委員

教育長	吉野 英勝
1 番委員	吉野 聖子
2 番委員	賀籠六尚樹
3 番委員（教育長職務代理者）	姫野 武俊
4 番委員	佐藤 恵
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名

教育理事	志賀 哲哉
教育総務課長	後藤 惟稔
学校教育課長	渡邊 早苗
生涯学習課長	足立 達哉
まちづくり文化財課長	古田 卓
竹田中央学校給食共同調理場長	後藤 一郎
歴史文化館長	佐藤 晃洋
事務局員	教育総務課長補佐 大塚 聡子
- 6 議事日程
  - (1) 会議録の承認 第1回定例会会議録
  - (2) 教育長報告
  - (3) 審議事項

議題第2号	令和3年度竹田市教育費予算（3月補正）要求書について
議題第3号	「竹田市立学校職員の公務旅行における自家用車に関する取扱要領」の一部開催について
議題第4号	「竹田市立学校職員の服務規程の一部改正について
議題第5号	「竹田市地域学校協働本部運営委員会設置要綱」の制定について
  - (4) 報告事項

報告第1号	竹田市長期総合教育計画の答申について
-------	--------------------
  - (5) 審査事項  
なし
  - (6) 協議事項 令和2年度小中学校卒業式・幼稚園卒園式及び令和3年度小中学校入学式・幼稚園入園式について
  - (7) 連絡事項

(1)	2月幼・小・中行事予定表
(2)	2月教育委員会関係日程（予定）
(3)	今後の主な予定
  - (8) その他 各課から
  - (9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時]

- 吉野教育長  
それではただいまから、第2回の定例会を開会いたします。第1回の定例会の会議録は、すでにお配りをしています。質疑修正等ありますか。よろしいですか。
- (「はい。」の声。)
- 吉野教育長  
それでは会議録に署名をお願いします。  
どうもありがとうございました。続きまして、教育長報告をお願いいたします。教育理事。
- 志賀教育理事  
1月8日の教育委員会第1回定例会以降について報告いたします。10日、成人式式典は延期しましたが、記念撮影用ブースを4か所設置して新成人の対応をしました。13日、第13回校長・所長会議。14日、竹田市標準学力調査。19日、第4回長期総合教育計画審議会。20日、直入幼稚園保護者説明会。21日、竹田教育振興協議会運営委員会、瀧廉太郎記念音楽祭第4回実行委員会。25日、第3回大分県市町村教育長会議及び第2回大分県教育情報化推進本部会議。26日、文化財保護調査委員会、特別支援教育講演会、白丹小で「今後の学校の在り方について」アンケート結果説明会。28日、定例課長会議。29日、岡城インスタフォトコンテスト審査会。2月3日、宇宙ひょうたん桜植樹記念式・植樹式。4日、第3回管内教育長会議。5日、竹田市議会臨時会、竹田教育振興協議会評議員会、城原小と直入中で「学校の在り方」アンケート結果説明会。9日、久住中でアンケート結果説明会。本日10日、教育委員会第2回定例会、この後、竹田市総合教育会議。以上です。
- 吉野教育長  
教育長報告に関して質疑ありませんか。姫野委員。
- 姫野委員  
1月19日の第4回の長教審の内容と1月20日の直入幼稚園保護者説明会の内容を少し詳しく教えていただきたいと思います。
- 吉野教育長  
教育総務課長。
- 後藤教育総務課長  
第4回の長期総合教育計画審議会については、後程その答申内容について報告させていただきたいと思います。直入幼稚園の保護者の説明会ということなんですけども、来年度の園児の募集を12月4日までというところで、いたしました。その結果応募者が、年少組1名ということで、今度年長さんに上がるお子様4人、年少は1人ということで、計5人ということになります。  
それは規則の中での5人未満というところではクリアしますが、ただ、そのクラスが1人と、いうことでありますので、そうした場合に幼児教育の集団活動の中での教育というものが、難しくなるということでもありますので、二クラスに分けるのではなくて、混合保育の中で、行っていきますけど、それでよろしいでしょうかというところの説明会をさせていただいたというところがございます。その相手の保護者というのは年長に上がる4人の保護者の方の世帯です。

吉野教育長	佐藤委員。
佐藤委員	4校で今後の学校のあり方について説明会というものがあつたと思うんですが、それはどういう説明会で、PTAの方からの意見について聞かせてください。
吉野教育長	教育総務課長。
後藤教育総務課長	今回、去年の10月の12日から23日の間のアンケートをやつたということは、この教育委員会の中でも、報告させていただいておりますし、前回の委員会の中で、その対象校については、説明会をしていきますと、報告させていただいております。それで、白丹小、そして、城原小、直入中、久住中と、今までに4校、行つております。今後、あと、都野中が12日、22日が、菅生小というところで6校行くように予定をしています。それで今まで4校行つた中で、どういった説明なのかということですが、今回PTAの役員会の前の30分をいただきまして、今回、実施したアンケートの報告ということで行つております。基本的には報告のみという形で行つていきます。その説明を、そのアンケート内容、各学校の抜粋した対象のところを抜いて、説明をして、統合希望が何%、存続希望は何%なのか、どういう答えが多かつたのか、どういう意見があつたのかということ、それをまとめたものを報告をさせていただいております。それで30分の中で、時間があつた場合、意見をいただくことも致しました。存続に対しての要望や気持ちがあつたりとか、また逆に統合を早くしてほしいという意見もありました。ただ、今回は報告ということだけで行つていきますので、その中に付け加えまして、4月、新しい保護者の方ができて、新しい体制になつたその4月からは、具体的な話をまたさらに、入り込んでさせてくださいというところの説明をさせていただいて、今現在の役員の方については、新しい体制になるときの部分で、この報告というのを引き継いでくださいと、そういう説明を30分行つているところでございます。
吉野教育長	賀籠六委員。
賀籠六委員	その内容で、説明会を受けた保護者の方から話を伺つて、ぜひそのアンケートだけで終わらずに、統合するにしろ、しないにしろ、その道筋つていうのははっきりと示して欲しいという声もあつたし、また統合するならば、どれぐらいの時期で、どういう形でということも是非示して欲しいという意見があつたので、そこら辺を是非考えの中に入れてもらえればなあと思います。
吉野教育長	教育総務課長。
後藤教育総務課長	そういう意見はやはり出ました。アンケートばかりやつて、進まないんじゃないかという意見をいただきました。それで終わらずに、話し合いをやつて欲しいということをおっしゃいましたので、先ほどの中で、4月から新体制となつた中で、そういった会を重ねて行くと、そこで、保護者の方、地域の方というところと、教育委員会の中での、ベクトルがうまく合つてけば、道筋というのができると思いますので、そこで具体的な話をしていきたいというところは、一応、30分の中ではありますが、説明をさせていただきたいところです。

吉野教育長	他に、教育長報告についてありませんか。教育長報告は了承したということで、次に移りたいと思います。本日の審議事項は4点です。議題第2号令和2年度竹田市教育予算3月補正の要求書についてです。最初に、課ごとに説明をお願いしまして、全部の説明が終わってから質疑を受けたいと思います。教育総務課長からお願いします。
後藤教育総務課長	私の方から、総括について説明をさせていただきます。まず、1ページの総括表です。内容については、教育委員会内での全体3月補正予算要求額を記載しております。歳入、歳出とも予算要求総合計の額となっております。当初予算要求額、前年当初額、比較となっていて、教育委員会関係全体の歳入補正要求額増減差し引きで合計185,000円の増額、歳出補正要求額増減差し引きで合計4,091,000円減額です。それでは各課ということで、まず私の方から教育総務課の予算の内容を説明させていただきます。 歳入については、教育使用料、教育費国庫補助金、雑入とあり内容については、記載しているとおりでございます。歳入補正要求額は、6,119,000円です。次に歳出です。基本的に減額をしているのは、不要額でありまして、その分を精査して減額しております。増額の分についてですが、今回、国が緊急的な措置として、冬季における感染拡大のリスクを最小限にするため学校における感染症対策を強化するために必要となる保健衛生用品等の購入経費を支援するもので、各学校上限800,000円の予算要求するものであります。小学校11校、中学校6校分を要求しております。以上です。
吉野教育長	学校教育課。
渡邊学校教育課長	3ページをご覧ください。学校教育課です。歳入につきましては206万6000円減額ということで、下の段、歳出につきまして、ここに書いてある通りです。コロナ禍による事業の中止等が主な原因になっております。以上でございます。
吉野教育長	生涯学習課。
足立生涯学習課長	生涯学習課です。歳入につきましては、増額部分が都市公園事業補助金750万の増となっております。これは、歳出の部分で説明します。続いて歳出です。先ほど教育総務課長も申されましたが、主に減額部分については不要額という部分で、減額をさせていただいております。次の5ページの、総合運動公園、運営管理費、この部分が増額となっておりますが、この主な要因としましては、竹田市陸上競技場の改修、前回もご説明をさせていただきます。改修費として前回、補助金額を1億4050万計上しておりました。スポーツ推進審議会へ諮問をしまして答申をいただいた結果を受けて、再度見直しを行いました。その結果、陸上競技場が2億200万、その後、3次補正の追加要望がありました。この中で、テニスコートが非常に傷んでおります。テニスコート周辺にカイヅカイブキの木を植えておりますが、その木の根っこがコートの中に入って、コートに凹凸ができており、その改修も要望させていただいた結果、1月28日に内示を受けたところです。 本来であれば、令和5年度の公共施設整備計画だったわけですが、ここが計画として、8400万の事業に対して、補助が4000万。次にテニスコートは平成12

年に完成し、自動点灯装置も老朽化しており、この部分の要望もおこない、照明の改修設計管理費、それから、総合運動公園の改修工事費。すべて合わせて、3億100万。前回2億8102万3000円を要求しておりますが、その差額の部分の増額計上させていただいております。以上でございます。

吉野教育長

まちづくり文化財課。

古田まちづくり文化財課長

まちづくり文化財課、6ページでございます。歳入は、1025万6000円の減額でございます。主なものとしましては、表一番上の岡城跡の観覧料が191万円の減でございます。残念ながら、1月までの段階で、昨年約51%の入場者であり、今年についてはいかんともしがたいということで、減額をしております。他は補助事業等の調整によるものです。一点、岡城の御城印につきましては売れ行きが良好ですので、34万円の増額をしております。歳出につきましては、基本的には委員会や事業などができなかったことによる減額調整でございます。合計で、602万7000円の減額となっております。

吉野教育長

歴史文化館。

佐藤歴史文化館長

歴史文化館です。7ページをご覧ください。歳出につきまして、コロナ禍により実施できなかった事業等について精査して、不要額として減額をしております。合計258万4000円の減額となっております。以上です。

吉野教育長

学校給食共同調理場。

後藤学校給食共同調理場

調理場です。歳入につきましては、教育費負担金としまして、年度当初、比較し久住調理場管内の児童生徒、それと教職員の数の増により、36万5000円今回増額をするものでございます。また、県費の負担金としまして、竹田支援学校の給食の提供につきましては、現在中央調理場で実施をしておりますが、県の給食事業に、当初と比較し差が生じたので、今回26万8千円増額するものでございます。歳出としましては、久住調理場の予算としまして、光熱費の関係で、当初の電気料の基本単価と変更が生じたので、40万円の減額をしております。賄材料費につきましては、歳入で説明しましたように、人数の増加をいたしましたので、歳出もあわせて増加をするものでございます。手数料、業務委託料につきましては、保守点検も含めまして、予算執行残の減額でございます。直入調理場、中央調理場につきましても、久住調理場とほぼ同じ内容でございます。3調理場合わせて、129万4000円の減額でございます。よろしく願いいたします。

吉野教育長

最後に図書館。

後藤教育総務課長

図書館であります。同じく不要額でありまして、その後精査して減額をしております。備品購入費20万9000円を減額しているということでございます。

吉野教育長

お気づきのよう、コロナ禍で事業、行事等ができてない部分。それが、いわゆる減額となって出ているということはお理解いただけるものと思います。ただ、感染症対策の教育総務課のところ、補助が出たことで増えているという状況

	だと思えます。改めて項を追っていきます。2 ページ教育総務課ありませんか。
吉野教育長	では学校教育課について、佐藤委員。
佐藤委員	コロナ禍で事業が中止になっていると思うんですけど、スクールサポートスタッフと学習指導員配置事業補助金については、これはスクールサポートスタッフの方、学校指導員の方の採用がなかったということでしょうか。
吉野教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。人数的には予定していた人数が入りましたけれども、採用時期が、なかなか応募がなくて遅れたというようなことがございましたので、減額となっております。
吉野教育長	佐藤委員。
佐藤委員	教育委員会が募集を受ける方法というのがわからないです。
吉野教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。ハローワークでお知らせをして、公募しております。
吉野教育長	姫野委員。
姫野委員	部活の指導者について年度末に集まらなかったことですが、募集してもなかなか短期間で集まらないのは時間給とかそういった問題もあるのかなと個人的に思いますが、募集のやり方等も含めていかがですか。
吉野教育長	学校教育課長。
渡邊学校教育課長	はい。ありがとうございます。部活動指導員につきましては、働き方改革の一環で入ってきたものでございますので、この採用された方が部活動についてる時間は学校の教員が付かず、その分ういた時間を子供たちに向き合ったり、教材研究等の時間に充てたりしております。大変責任ある仕事を、安い時給で勤めていただくことになっております。今、竹田南部中学校のテニスに教員を退職された方がお1人入ってくださっていますが、なかなか条件も厳しい中で、マッチング、つまり、この中学校のこの部活動の競技であれば、ぜひ来ていただきたいけれども、そこになかなか通ってくださる方を見つけること、マッチングさせることが難しいという状況になっております。
吉野教育長	姫野委員。
姫野委員	誰でもというわけじゃないので難しいと思いますが、条件的なものがちょっと厳しいとか、そういうのもあるんでしょうか。
吉野教育長	学校教育課長。

渡邊学校教育課長	はい。そうです。会計年度任用職員になりますので、例えば市の職員等、そういう方を採用することはできませんので、市の職員が土曜日に行くということになればボランティアであって、この制度を使うことができません。そういう、縛りがあるので人数を増やすことが難しいところでございます。
吉野教育長	よろしいですか。次にいきます。生涯学習課に私の方から確認したいのですが、総合運動公園は、全部のコースを張りかえて、なおかつテニスコートは別として、と総合運動公園の姿はそういうふうになるんですか。はい。生涯学習課長。
足立生涯学習課長	はい。総合運動公園は、現在8レーンのトラックありますが、8レーンは全部改修を行います。ただ、内側の高跳びのピットとそれから幅跳びのピットは、現状ウレタンになっておりますので、そこも改修はしなくても大丈夫だろうということで、あたりません。審議会の中で、公認の必要性を問いましたが、公認は必要ないということで、今ある中の縁石、木の縁石あるのですが、それは設置せずに競技場の通常の競技ができる形のトラックを、設備をするという計画をしています。
吉野教育長	確認しますが、この3億云々のところは市の持ち出しと補助というのはどういった割合なるのですか。生涯学習課長。
足立生涯学習課長	はい。陸上競技場、先ほど申しました2億200万の2分の1が、国の補助金、交付金という形になります。テニスコートはフェンスの芝の部分ですね、下のカイヅカイブキの根が入ってきてる部分については、現在8400万、うち4000万が補助、400万については、抜根とか、そういう部分は補助対象になりませんので、4000万の交付金と。続いてテニスの照明自動点灯装置ですが、約1500万程度かかる予定になっておりますけど、これの内の700万が補助対象という形になりますので、3億100万のうち、1億4800万円が補助、交付金という形になります。
吉野教育長	そうすると持ち出しはいくらですか。
足立生涯学習課長	残りの、はい。1億5300万。そのうちの金額、合併特例債だとか、そのあたりが充てられますので、持ち出しは少なくすみます。
吉野教育長	わかりました。重ねてですが、修理した完成時期がいつ頃になりますか。生涯学習課長。
足立生涯学習課長	工期的には9ヶ月から10ヶ月かかるという形になります。ただ、今年というか、来年度になりますけど、選挙等がございますので、選挙等が終わってから、入札等になるとおられますので、来年いっぱい、工期的にはそれぐらい見ておかないといけないと。多分それ以内には収まると思いますが、工期を見ていただきたいと思います。
吉野教育長	いくつか質問をしましたが、生涯学習課についてありませんか。続きまして、まちづくり文化財課にかんしてありませんか。歴史文化館についてありません

か。学校給食共同調理場についてありませんか。最後に、図書館についてありませんか。はい。ありがとうございます。それでは3月補正については、これで要求をしていくということで、ご承知願いますでしょうか。

(「はい。」の声。)

吉野教育長 ありがとうございます。それでは、これで要求をしていきますのでご確認をお願いしたいと思います。次に進みます。議題第3号竹田市立学校職員の公務旅行における自家用車使用に関する取扱要領の一部改正についてです。説明をお願いいたします。学校教育課長。

渡邊学校教育課長 はい。3ページ4ページをご覧ください。この要領につきましては、大分県の旅費制度改正に伴い、大分県内の学校職員の旅行命令簿及び自家用車使用承認書の様式を統一することとなったため、文言を変えて、所要の改正を行うものです。以上です。

吉野教育長 はい。県の条例の改正に伴って竹田市も変えるということですが、内容は変わっていないということです。質疑ありませんか。はい。それでは、議題第3号については承認いただいたということで次に移ります。次に議題第4号竹田市立学校職員服務規程の一部改正についてです。学校教育課長お願いします。

渡邊学校教育課長 はい。こちらにつきましても、先ほど同様、文言を変えたところでございます。関連しております。どうぞよろしくをお願いいたします。

吉野教育長 はい。内容的には今まで通りでいいですか。

渡邊学校教育課長 はい。

吉野教育長 ということでよろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。続きまして議題第5号竹田市地域学校協働本部運営委員会の設置要綱の制定についてです。生涯学習課長お願いします。

足立生涯学習課長 はい。竹田市地域学校協働本部運営委員会設置要綱の制定についてです。この案は、次期学習指導要領が目指す社会に開かれた教育課程の実現に向けて、学校は地域との連携協働を一層深めて進めていくことが重要であり、地域においても、より多くの地域住民等が、子供たちの成長を支える、活動に参画するための基盤を整備していくことが求められています。国は、2022年度までにすべての公立学校において、学校運営協議会制度が導入されること。すべての小中学校区において、地域学校協働制度が推進されることを目指していることから、要綱の制定を行うために提案するものです。現在、大分県内18町村のうち14市町村が、地域学校協働本部を設置しております。現状設置なしという自治体については、竹田市、日田市、豊後大野市、日出町の4市町となっております。以上です。よろしく申し上げます。

吉野教育長 はい。議題第5号について質疑を受けます。確認をしますが、今学校では学校運営協議会が設立されています。さらに、この学校を取り巻く状況で、竹田市

の地域学校協働本部というのを立ち上げることの意義についてお話しください。

吉野教育長

生涯学習課長。

足立生涯学習課長

はい。学校運営協議会は設置されておりますけど、これ学校運営協議会とは、学校と住民や保護者等が学校運営の基本方針の承認や、様々な課題を共有、様々な課題の共有を、図るとともに学校運営への必要な支援について協議をする場となっております。役割としましては、校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見述べるができるとあります。また、地域が今回制定を目指します地域学校協働活動とは、地域と学校がパートナーとなって、地域全体で子供たちの成長を支えて、地域を創生する活動というふうになっております。運営委員の中身につきましてはこの要綱に書いておりますけど、教育委員会教育長、それから地域活動推進委員、校長または教頭の代表、教職員、その他必要と認める皆様方で構成をした約 10 名程度で構成をしたいと考えてるところです。

吉野教育長

はい。繰り返しません。この件について、学校を支えるという新たな組織をもう一つ、きちんと学校取り巻く状況を整備したいということのようであります。質問ありませんか。賀籠六委員。

賀籠六委員

その推進委員を含めた 10 人程度ということは、学校単位で 10 人程度の組織にしていくということでしょうか。

吉野教育長

教育理事。

志賀教育理事

期待する地域学校協働活動としては、教育活動の支援、放課後や土曜日等の見守り、学校周辺の環境整備等を挙げています。今、竹田市内の小中学校では既に、実践できている取り組みも多いと思います。学校教育活動を進めていく上で、重点目標について熟議する場が学校運営協議会です。それらの活動の中心となり、組織的な活動としてきちんと確立するものが地域学校協働本部ということになります。期待される効果として、子どもにとっては、学びや体験活動が充実すると共に、地域の担い手としての意識が高まること。学校にとっては、人事が広域になっていきますので、学校支援が組織化されれば、教員の異動にかかわらず、持続可能な学校支援体制が担保されるということ。地域住民にとっては、地域の子どもと顔見知りになり、良好な関係が築かれ、校区に緩やかなネットワークが形成され、新たな地域コミュニティが築かれるということです。ことさら、何か新しいことを始めるということではなく、学校運営協議会を軸に既に実践されている地域との連携を、きちんと形づくるということをお願いしたいと考えています。

吉野教育長

賀籠六委員、いいですか。他にありませんか。姫野委員。

姫野委員

県内で設置してないところが 4 地区という話でしたが、他の地区はこれを設置してる他に、同じような協議会とか学力向上会議とかもいろいろありますけど、

同じような内容のものがあるのですか。

吉野教育長

教育理事。

志賀教育理事

はい。呼び方はいろいろありますが、他地域、他郡市では、同じような組織ができています。学校運営協議会については竹田市内全小中学校で組織されています。今回立ち上げようとしている地域学校協働本部は、地域が学校教育を支えるだけでなく、学校を核として地域のコミュニティをつくるということを目指しています。もう既にかなり多くの地域が学校とそういった活動に取り組んでいます。

吉野教育長

姫野委員。

姫野委員

内容が追加となったときに、組織がいろいろあると非常にわかりにくいのかなということがあります。そうであれば、これに評議会の内容を入れるとか、そういった方がわかりやすいのかなと思いました。

吉野教育長

教育理事。

志賀教育理事

組織としては同じように見える部分もありますが、学校運営協議会は学校教育について熟議する場です。地域学校協働活動の庶務は、学校教育課でなく生涯学習課が処理するものです。要するに、地域の側から築いていく組織であり、中心的な活動としては、学校を支える、地域全体で子ども育てるということです。目指すところは変わりません。

吉野教育長

いいですか。佐藤委員。

佐藤委員

荻の小学校ではスクールバスに乗り込んで登下校を見守ったり、ミシンの授業をサポートするということに地域の方が入っている活動があります。そういう活動を、決まった人を決めて運営していくという理解でいいですか。

吉野教育長

教育理事。

志賀教育理事

その通りです。今までは、学校が地域の力をお借りする時には、例えば教頭が窓口になるとか、地域のことを知っている地元出身の教員が何かお願いするとか、または、直接地域の方から学校に対して何か提案がある、ということでした。今後、心配されるのは、地元出身でなく地域のことをよく知らない先生方が増えることです。今でも市外から来られる先生がたくさんいます。そうした時に、例えば、校長・教頭がその地域のことをよく知らないとか、或いは教員も、地域の方を知らないといった事態も考えられます。その時に、中心となって、コーディネートする組織を最終的に目指したいということです。教員の異動にかかわらず、教職員がどういうメンバーになっても、子どもの見守りや美化活動、学習支援などの活動をずっと継続できる地域、学校の在り方を目指したいということです。

吉野教育長

佐藤委員、いいですか。他にないですか。吉野委員。

吉野委員 放課後子ども教室などの関係で活動したことがあります。協育ネットワーク、協育コーディネーターというのとか、何か役職の名前を聞くけど実態がちょっとわかってなかった部分があります。それは今回の組織と近いかどうかというのと、そういう方が活動されるのに、学校教育課と生涯学習課どちらに言っていけばいいのかわからない、やりにくい面があるという話を時々聞くので、その辺のことを考えていただけたらと思います。

吉野教育長 はい。要望を含んでいます。教育理事。

志賀教育理事 推進委員はどちらの組織にも入ることになります。今、考えていることは、学校によってメンバーも違いますが、学校運営協議会の委員の中の1人が、この協働本部の推進委員を兼ねるということです。そのことによって、活動は共有できると思います。

吉野教育長 生涯学習課長。

足立生涯学習課長 はい。学校教育課それから生涯学習課はどちらかというお話なんですけど、基本的に今回の協働本部につきましては生涯学習課が事務局という形になりますので、こちらの方にご相談いただければと思います。

吉野教育長 はい。今吉野委員が言ったように、放課後子ども教室とかいろいろあるのを整理するチャンスかもしれませんねえ。よろしいですか。それでは議題第5号について承認願えますか。

(「はい。」の声。)

吉野教育長 はい。ありがとうございます。議題第5号については承認いただきました。それでは次に移ります。報告第3号についてお願いをします。教育総務課長。

後藤教育総務課長 はい、竹田市長期総合教育審議からの答申についてでございます。現竹田市長期総合教育計画が今年度で終了するにあたり、昨年8月21日から次期計画について審議会に諮問し、答申に向けて審議を重ねてまいりました。特に学校配置並びに幼稚園の今後の在り方については、別に専門部会を設置して、審議会から諮問をし、3回の議論を重ね、審議会に答申をいたしました。審議会もその答申を受け更に教育員会全般にかかる審議も重ね、令和3年1月19日に第4回の審議会にて最終審議をし、審議会会長より教育長に答申をいたしました。竹田市長期総合教育計画審議会の答申に示された内容として、教育行政計画に関すること、生涯教育計画に関すること、つまり学校施設、学校教育、生涯学習、学校給食、文化財並びに歴史文化館など教育委員会全般答申をいただいております。後程、一読していただければと思います。現在、アンケート結果報告に各学校を訪問していますので、特に学校配置の個所を説明させていただきます。小学校については、存続が難しくなった場合は、地域や保護者の声を聴きながら、再編による配置を考慮する。その際、最終的な配置の在り方は、竹田地域に

2～3校、その他の地域に各1校の配置を基本とする。中学校については、自主的・自律的な教育活動等を通じて、多様な考えに触れ、思考力や表現力、判断力、課題解決能力などを育み、切磋琢磨しながら、社会性や規範意識を身につけさせることが重要となる。また、部活動を含め多様な選択肢の中から、自己を成長させ、可能性を伸ばせる場を選べる環境も必要となる。そうした教育環境を子どもたちに提供するためにも、全中学校が小規模校である現状を鑑み、1学年2学級規模の教育環境を整えることを原則として、地域や保護者の声を聴きながら、再編による配置を推進していく。と答申いただいております。今後は、この答申をもとに令和3年度から5年間の竹田市教育全般に対して長期計画の策定への準備を進めてまいります。完成をいたしましたら、教育委員の皆様方にお示ししたいと考えております。

吉野教育長

はい。この答申は、議会の代表、学校の代表、PTAの代表、それから有識者の代表等で作り上げたものです。私たちはこれをもとに、議会の質問、それから教育の変更とかですね、そういうことを常に考えていくバイブルみたいなものだと思いますので、じっくり読み込んでおいて欲しいというふうに思います。そして、これをもとに計画を作っていくということで、それをまたできたらお見せしたいということでもあります。今学校の配置だけに発言がありましたが、他の部署等でも、十分練って答申に盛り込まれていることでもありますので、文言は短いところもありますが、しかし中身は十分考えた上での文言でありますので、これを審議するというふうにはなりません。また質問等、意見等ありましたらお寄せいただきたいと思うし、ここにこう書いてあるけども今違うんじゃないとかですね、そういうことがありましたら、また指摘をしていただいて、間違いのない道を歩まなければというふうに思いますので、そういう確認のもとでよろしいでしょうか。はい。よろしく申し上げます。次に協議事項でございます。教育総務課長申し上げます。

後藤教育総務課長

はい。それでは協議事項です。令和2年度小中学校卒業式並びに幼稚園卒園式及び令和3年度小中学校入学式並びに幼稚園入園式の対応について、日時は別紙のとおりで、式は児童生徒と園児・保護者・教職員のみで行います。これは新型コロナウイルス感染拡大対策によるもので、来賓は出席をしない、教育委員会からは告辞を送付、教育委員会からは式を見とどけるということにしております。委員さんの出席については別紙をご覧ください。以上です。

吉野教育長

よろしいですか。都合が悪いところが出ましたら教育総務課にご連絡いただいて、入れ替えていきたいというふうに考えますので、よろしく申し上げます。続きまして、連絡事項をお願いします。教育総務課長。

後藤教育総務課長

連絡事項です。まず(1)の2月の幼小中の行事予定表であります。資料の2ページをお開きください。2日、竹田幼稚園、南部幼稚園、直入幼稚園で節分豆まきが行われました。3日、直入小学校で宇宙ひょうたん桜の式典並びに植樹式、4日久住中でようこそ先輩、5日菅生小で縄跳び記録会、9日祖峰小で平和授業、都野小で縄跳び大会が開かれました。本日、10日菅生小で平和集会、白丹小、竹田中、竹田南部中、緑ヶ丘中、久住中でそれぞれ平和学習、都野中で3年お茶会が開かれました。16日、荻小で縄跳び大会、17日豊岡小でチャンプ本決定戦、同じく豊岡小で防災集会、直入小でじまん大会、18日、白丹

小、19日豊岡小で縄跳び大会が開かれます。22日祖峰小で縄跳び大会、24日久住小でお別れ遠足・6年生を送る会、直入小でがんばったね集会、25日、南部幼でお別れ遠足、26日、豊岡小でお別れ遠足、菅生小で6年生を送る会、竹田幼稚園で避難訓練、竹田中、竹田南部中、緑ヶ丘中で、中学3年生を送る会、また久住中でお別れ給食が行われます。続きまして、(2)の教育委員会関係日程予定表でございます。3ページです。3日直入小学校で宇宙ひょうたん桜の式典並びに植樹式、4日第3回管内教育長会議、5日竹田市議会臨時会、竹田教育振興協議会評議員会、「今後の学校のあり方について」アンケート結果報告、城原小・直入中、これは9日に久住中で行いました。また、12日、都野中、22日菅生小でも行います。10日、本日教育委員会第2回定例会、そしてこの定例会の後市長部局との竹田市総合教育会議が行われます。15日、第14回校長・所長会議、同日大分県立久住高原農業高等学校運営協議会、17日お客屋敷指定管理審議委員会、同日教育委員会部局課長会議、18日、第2回TOP推進委員会、22日、第3回学校支援センター運営協議会、26日定例課長会議が開催されます。以上です。今後の主な予定です。①本日、15時30分から令和2年度総合教育会議を開催します。②第3回の教育委員会定例会については、3月4日木曜日、15時30分開会でございます。③教育委員会第1回臨時会、3月中旬、教育長室です。④教育委員会第2回臨時会、3月22日頃、教育長室です。⑤第4回の教育委員会定例会については、4月5日月曜日、15時開会でございます。場所は2階の庁議室です。以上です。

吉野教育長

それでは連絡事項について、2ページ、3ページ、そして1ページよろしいですか。連絡事項について終わりたいと思います。次に各課からということになりますが、先に教育委員の皆様から最近のことについて、気が付いたことがあれば言っていて、その後その答えを含めて各課からあれば出していただきたいという順でいきますが、よろしいでしょうか。はい。それでは、吉野委員からいいですか。最近、何か感じたことがあれば。

吉野委員

ここに中学生の子どもがプリント1枚もらって来て、直入の子どもみんなの約束というのがあります。直入幼稚園、小学校、中学校の連携協議会という名前で、挨拶やお返事をするとか、学習や起きる時間、寝る時間を決めるとか、登園、登下校を自力でとかいう、これまでも一生懸命取り組んできたはずだけど、もう1回気を引き締めて取り組みを考え直そうという意気込みを感じて、これから期待したいなと思います。以上です。

吉野教育長

大事なことですね。賀籠六委員ありますか。

賀籠六委員

はい。最近学校に行って見かけたのですが、各学校で通信整備の工事が始まっているみたいですが、問題なく進んでいるのかということの確認と、あと4月からその通信を使ってギガスクール構想の運用を行っていくという話だったと思うんですが、その具体的な取り組みとか、方針か何か決まっているものがあるれば、教えていただきたいなと思います。

吉野教育長

はい。姫野委員ありますか。

姫野委員

私も一緒に、今日新聞に載っていましたが、別府のタブレットの取り組みで

すね。デモ校として別府の小中で始まったということですので。竹田の進捗状況等後程お話があると思うんで、その時でも構いませんのでお願いしたいと思います。それと1クラスが35人になったり、教職員の試験の合格率が1.3%でしたか、になったりですね、教員の質というか、そういったものも懸念されてるということがありまして。考えてみたときに給与体系は全く一緒ですよ。その中でやる気のある先生と、ちょっと問題がある先生とか、その辺の見極め、評価とかは今後どういうふうになるのかなと思いましたが。それなりに給与体系とか学校があげられればいいんでしょうけど、その辺の見極めというのは人事評価的なもので教育長に入ってくると思いますが。評価の基準というのは現状でどういうのがあるのかですね。

吉野教育長

はい。佐藤委員。

佐藤委員

新聞に、大分県の高校教員の方の土日の部活動はすべてボランティアだという記事が出ていました。私の子どもが中学校の時は、土曜日、日曜日もありました。結構な回数で、時期的には遠くまで遠征に行ったりしたことがあったんですが、中学校の先生方の土日のそういう対応はどういう感じになっているのかということと、働き方改革で、部活動指導員の方を募集されるんだけど、実際に学校にいらっしゃるのは南部中学校だけってということだったので、今後、そういう、教員、部活動指導員、そういうことを踏まえうえて、土日の部活動のあり方というのを、どういうふうに捉えていかれるのかなと思います。

吉野教育長

はい。それでは吉野委員の幼小中の連携について、これは大事にしないといけないということで、しっかりと意識しておきたいというふうに思います。その次に、タブレットに関わるギガスクール構想の進捗状況については、どうなっているのか、4月に間に合うかという話ですが、教育総務課長、どうですか。

後藤教育総務課長

はい。賀籠六委員と吉野委員から、ギガスクール構想のことでご質問がありました。今、各学校にギガスクールに対するアクセスポイントを、繋ぐことができる環境ということで、今、配線等の工事をしております。各学校に入って、授業中というのはなかなか難しいですので、休み、土日の時であったりとか、夜、とかですね、間に合うようにしてます。これは3月までの工期内に収まるような形でいけると報告を受けております。そして1人1台のタブレットということで、総数1500台、児童生徒には1250台、先生方には250台というところについては、それについても確保はできたということでもありますので、子供用は32ギガ、先生方は128ギガということで、先生の部分が、一般のiPadを利用するということで、ちょっと入りがどうかと、ちょっと心配してましたけれども、間に合うということであって、また、それを各それぞれに設定をしなくてはいけないんですが、それも間に合うという報告を受けております。あと65型の大型提示装置というのを各普通教室等に設置をするわけですが、その入札も終わりましたので、それについても、今月の終わりぐらいから入ってくるだろうというところがございます。そして、各先生方に、ハードウェアとあって、そこに情報データを入れ込んで、子供たちに、提示装置に示せるとか、そういった授業のあり方をするための活用ハードウェアというんですけども、それも250台、先生の数分、その分は確保できて、それも年度内に入るということがございます。そして、授業支援のためのアプリのプロポーザルをいたし

ました。また学習ドリルのプロポーザルもいたしました。それで、それはICTの活用の推進委員会でプレゼンを受けたんですけども、委員プラス、教員の方の人数を増やして、多くの意見を聞いた上で、それを決定をしたということで、それは、4月から使えるようになるということです。物理的なところについては、そういった予算の中で、3月の中で終了することができる。あとは4月から、動くことができるようになると思います。ただその先生たちの中での使い方であったりとか、研修であったりとか、そういったものをしていかななくてはいけないので、そこについては、また、推進委員会の中で、うまく研修等を行いながら、ギガスクールがスムーズに行けるような形ができればなと思います。

吉野教育長

はい、学校教育課関係で、1クラス35人の部分は今年は2年生からですね。それから採用の部分で2倍を切っていますが、そこら辺質の問題と評価はどうなってるかということ。それから、最近の部活動は働き方改革も含めてあるから一概に言えませんが、そこ辺はどうなってますかということ。

吉野教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。4点ありましたので、順に答えていきたいと思います。35人学級についてです。今は40人学級ということで小中学校とも定められておりますが、それが大きく変わってわけです。現在は小学校1年生に35人学級が制度化されておりますので、来年度から小学校2年生は35人学級になり、今の1年生が1学年上がるごとに、6年生になるまでに35人学級が実施されていくということでございます。次に、教員の質の部分で、採用試験が倍率1.3倍を切ったことについてですが、大変厳しい状況がございまして、新採用も含め10年3地域で竹田市に来られる若い先生方も、十分に研修の機会を確保し、研修の質も上げていかなければいけないと考えております。さらに、評価についてですが、教職員は、年間2種類の評価をしております。「能力評価」というものは、年に1回の昇給に関わってくるものでございます。また、「目標管理評価」につきましては、年度当初、各自が目標や評価指標を定め、校長や教頭と面談をしながら、課題を見つけて取り組んでおります。その「目標管理評価」については、年度中2回、その評価をしていきます。教職員の評価は、学校長が実施しこちらに上がっています。校長の評価については教育長が行い、それが、ボーナス（賞与）に反映されることになっております。教員には、そういう評価のシステムがございまして。最後に、部活動についてでございますが、今、「竹田市部活動の在り方検討会」の中や市のガイドラインでも決めておりますが、土日のどちらか1日は休むということで、教職員の働き方改革にも結びつけ、子供たちの活動についても、やり過ぎのないようにというような配慮はしてございます。以上です。

吉野教育長

よろしいですかね。はい、次に、課長からお願いしたいと思います。給食調理場から何かありますか。

後藤学校給食共同調理

特にございません。

吉野教育長

生涯学習課長、ありますか。

足立生涯学習課長

はい。生涯学習課です。1月の教育委員会定例会議が、第1回定例会が1月8日

だったのですが、そのあと1月10日に、先ほど教育理事の方から、成人式の写真撮影の件がありました。4ヶ所で撮影をしたということで、正式に申しますと66名の方が写真撮影に来られましたが、大半が女性でした。生涯学習課としても後ろのパネルを作成し4ヶ所設置させていただきました。非常に喜んでいただけたと思っております。それから事業系のことを申しますと、2月に入りまして、先週の日曜日、2月7日ですが、和気藹音コンサートを実施しました。これは竹田高校、竹田中学校、南部中学校の生徒の合同演奏だとか、いろんな形で、午後から約2時間半程度実施をしまして、生徒さんも含めて300人近くの方が、会場に入られたところです。それと、宣伝になるのですが、2月14日にグランツの事業になりますが、佐藤美枝子さんのソプラノリサイタルが行われます。佐藤さんは大分出身でありますけど、今年度、令和2年度の滝廉太郎全日本声楽コンクールの審査員として、お越しをいただく予定だったのですが、中止になり来れませんでしたけど、14日にはリサイタルがありますので、ぜひ皆さん見に来ていただきたいと思っております。2月は、あとは高齢者大学あるんですが、高齢者大学についてはですね、高齢者の高齢者大学生の高齢化というのが非常に顕著になって、その会場まで来るのが非常に難しいということで、今後いろんな形で、地域に出向くとか、その辺りを高齢者大学の生徒さんにお話をしますが、地域の分館まで出て行くのも非常に厳しいということで、今後どうしていかなきゃいけないかということで、頭を痛めているところです。3月、通常であれば、カラオケフェスタも生涯学習課関連の事業でありますけど、昨日実行委員会を行いましたけどコロナの関係で非常に怖いということで、今回中止が決まっております。3月の第1週、生涯学習まつりを実施してはおりますが、これについても発表部門はなくして、展示部門だけ3月14日から19日まで、グランツの方で、各分館からの出し物ということで、展示物はですね、掲示をして、皆さん方に見ていただきたいというふうに考えております。以上です。

吉野教育長

学校教育課長。

渡邊学校教育課長

はい。学校関係3点です。まず、中学3年生についてです。県立の推薦入試が終わり推薦合格者を差し引いた募集人員が発表されました。各中学校とも来週、願書を各高校へ提出をして、3月8日、9日の一次入試に向け、ラスト、生徒の進路決定までしっかりと取り組んでおります。次に、中学2年の修学旅行についてです。感染症拡大防止のため、9月、12月と2度延期してはりましたが、このたび6校の中2の生徒保護者にアンケートをとり、3月末に1泊2日で大分県内において実施をすることと決まりました。今後、校長が作成した修学旅行実施における感染防止のガイドラインも家庭に配布し、十分注意し実施していきます。最後に、感染症の予防についてです。今回、近隣、豊後大野市の子ども園で、また、大分工業高校でクラスターが確認されました。そこから学んだことも含め、引き続き、感染症予防及び、指導の徹底を学校長と確認した次第です。以上です。

吉野教育長

はい、教育総務課長。

後藤教育総務課長

はい。この後総合教育会議があります。今回の教育委員会の内容と少し重複するところがあるかと思っておりますけれども、15時半からどうぞよろしく願いいたします。

吉野教育長	まちづくり文化財課長。
古田まちづくり文化財課長	はい。本日は特段ございません。
吉野教育長	歴史文化館館長。
佐藤歴史文化館長	はい。歴史文化館では現在、「隈研吾の建築×竹田の建築展」を開催しております。コロナ禍で県外からの来館者は少ないのですが、県内の方々が来館されて、「見応えがあって、来てよかった」というような声もいただいております。2月20日土曜日には、グランツにおいて隈研吾さんをお招きしての講演会を予定しております。電話での申し込みなのですが、350人の定員のところ、本日の段階で260名の応募がっております。また旧竹田荘の隣の画聖堂に於いては、現在、市内の方所蔵の豊後南画をお借りして展示をしているところです。以上です。
吉野教育長	はい。教育理事。
志賀教育理事	はい。姫野委員が言われるように、給与や働き方改革についてはまだ課題が残されていますが、文部科学大臣は、「最後に目指すべき出口は、教師という職業を再びあこがれの職業にしっかりバージョンアップして、教員になりたい人を増やしていく」と1月の会見で述べました。先日、長湯出身の大分大学3年生がうちに来て、中学社会の先生になりたいと言っていました。竹田市から先生になりたいという若者が1人でも増えれば、と思っています。
吉野教育長	全体通して何かありますか。生涯学習課長、高齢者大学はいつですか。
足立生涯学習課長	2月24日です。
吉野教育長	2月24日の高齢者大学は、足立課長が講演をするということでございます。聞くのは自由だと思います。余裕のある方は聞いてください。発言された内容については、大事にしていきたいというふうに思います。これを持ちまして、第2回定例会を終わりたいと思います。

[閉会時刻:午後3時55分]